

伊豆大島における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Izu Oshima Volcano

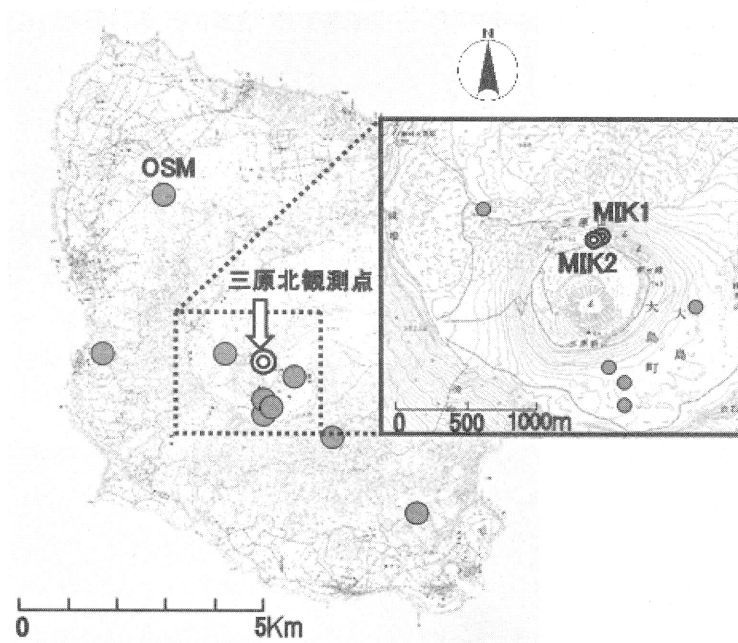
気象庁地磁気観測所
Kakioka Magnetic Observatory, JMA

地磁気観測所では、2007年3月に三原山火口北側に全磁力観測装置を設置し、全磁力連続観測を実施したので報告する（第1図）。

2007年3月から2007年5月までの期間について、連続観測点MIK2で得られた全磁力日平均値と、参照点として利用したOSM（東京大学地震研究所：北緯34度45.94分、東経139度22.37分、火口の北西約4.8km）の全磁力日平均値との差を第2図に示す。5月10日に測器が故障し、5月21日に交換したところ不連続が生じた。

現時点では短期間の観測結果しかないので、三原山の火山活動に伴う地磁気全磁力の変化を見るためには、さらなるデータの蓄積が必要である。

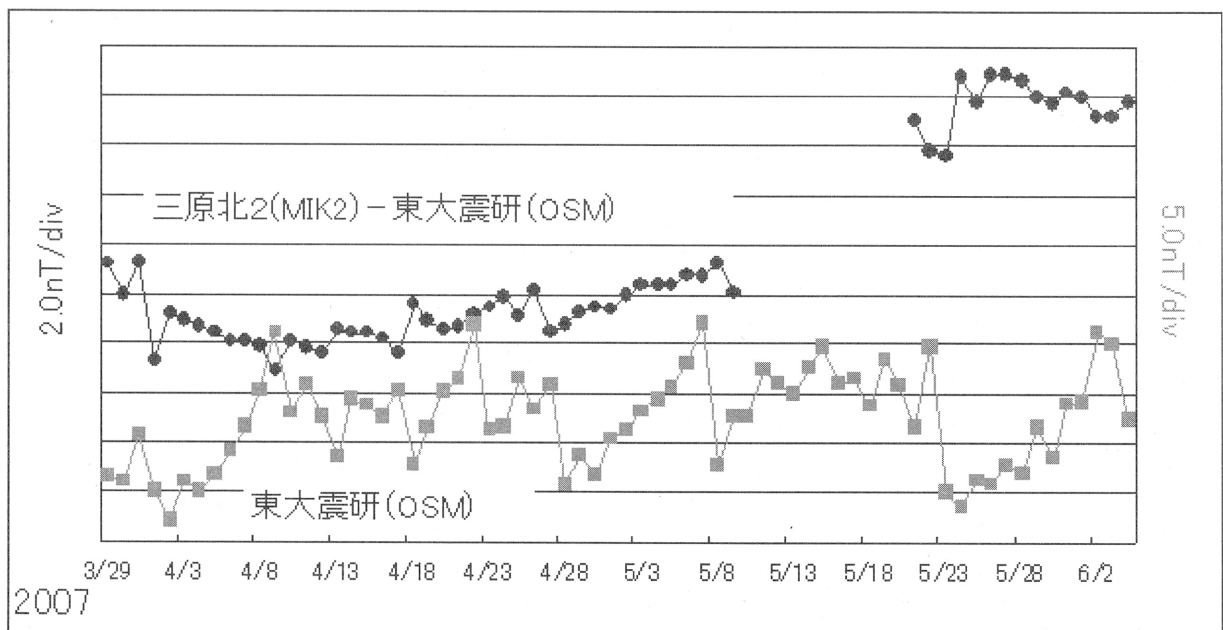
* 2007年12月27日受付



第 1 図 全磁力観測点配置図 (◎：地磁気観測所、●：東京大学地震研究所)

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図25000(地図画像)」を使用した

Fig.1 Location map of geomagnetic total intensity observation stations. Geomagnetic Observatory stations are marked by ◎. stations operated by Earthquake Research Institute(●) are also shown.



第 2 図 2007年 3 月から2007年 5 月までの連続観測点MIK2における全磁力日平均値と参照点OSMの日平均値との差 (●, 左目盛り), OSMの値も示す (■, 右目盛り)。

Fig.2 Daily mean differences of the geomagnetic total intensity between continuous stations MIK2 and the reference station OSM from March 2007 to May 2007. (●)in the left-hand scale. The total intensity at OSM is shown on the right-hand scale.